抗菌コンクリート 下水道

ゼオガード

ゼオガードは化学的・物理的に安定した構造の“銀・銅担持ゼオライト（ゼオマイティ®）”を混入し、銀・銅イオンによる抗菌作用をもたせたコンクリート製品です（抗菌コンクリート研究会規格）。

※社団法人 日本下水道協会Ⅱ類認定資器材（抗菌コンクリート管）
※建設技術審査証明 第1208号（更新番号：審査証明第0401号；ゼオマイティ® コンクリート抗菌剤）
※ゼオマイティ® はシナネン㈱の登録商標です。

特長

1. 下水道コンクリート製品の腐食の原因であるチオバチルス菌（硫黄酸化細菌）を銀・銅イオンの抗菌作用により滅菌するため、ヒューム管、マンホール、ボックスカルバートなどの製品の腐食を軽減します。
2. 従来の腐食対策に比べて経済的で、長期間に渡り抗菌作用を持続できます。
3. コンクリート強度など、その他の物性値は普通コンクリートと変わりません。
4. （社）日本下水道協会の「下水道管路施設腐食対策の手引き（案）」腐食環境条件Ⅲ種に適合しています。

用途

・ヒューム管、マンホール、ボックスカルバートなど

耐腐食性

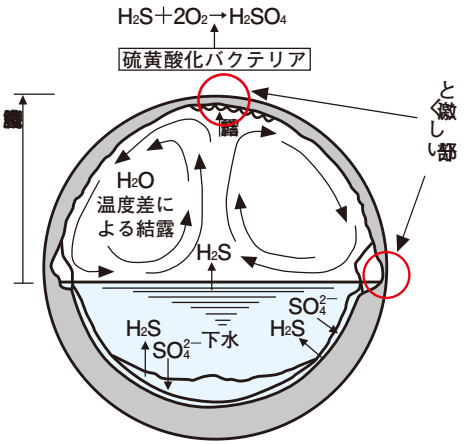
※下水処理場での曝露試験結果（3 年 2 ヶ月経過）平均 H_2S 濃度 40.7ppm、平均温度 26℃、平均湿度 79%

普通コンクリート

抗菌コンクリート

●数量表

部材	環境条件	被り最小値（mm）	腐食速度から計算した被り最小値へ達する期間（年） 抗菌コンクリート	通常コンクリート
スラブ	一般の環境	25	186	26
	腐食性環境	40	298	42
	特に厳しい腐食性環境	50	373	53
はり	一般の環境	30	223	32
	腐食性環境	50	373	53
	特に厳しい腐食性環境	60	447	64
柱	一般の環境	35	261	37
	腐食性環境	60	447	64
	特に厳しい腐食性環境	70	522	74



（コンクリート管）
コンクリート腐食の原因とメカニズム
（出典：日本下水道事業団 1988.3）